



# さあ、 上見ていこう。

私たちの未来は光り輝く笑顔が照らしている。

そんなはずはなか。

世界の誰も、地元の人でさえその未来を信じとらん。

それでも皆、無責任に言い放つ。

宇城市にも魅力は必ずあるはず。

誰かがどぎゃんかせなんですよ。

今せんといかんですよ。

でも、そんな考えは馬鹿げとる。

何もなかけん。

私には何もできんけん。

普通だもんね、宇城市。

読み終わったら、下から上にも一行ずつ読んでくださいね。

さあ、上見ていこう。

「ここはもう行ったね？この時期は特にきれいだよ。」

「昔からここで昼寝しよったたいね。」

「いつも見とるけん当たり前と思っとるばってん、意外と良かもんね。」

「まちの人たちと一緒に地域の宝を生かしていきたいかね。」

まちを歩けば、たくさん笑顔に出会える宇城市。その笑顔から発せられる言葉は地域への愛情そのもの。

住民の間で受け継がれてきた言い伝えや昔から愛されてきた伝統、珍しい植物など、市内は眠れる素材であふれています。

地域の魅力発見をきっかけに、自らその良さを発信していきませんか。私たちのふるさと観光スポットとなる可能性に満ちています。地域にある活気の源を探し出し、まちの未来を輝かせていきましょう。

